

週報

2026年1月25日
主日礼拝



〈聖書のみことば〉

詩篇113篇3節

「日の昇るところから沈むところまで
主の御名がほめたたえられるように。」

主日礼拝プログラム

- ・前 奏
- ・招 詞 詩篇 36:7~9
- ・贊 美 LP193「輝く御座に」
LP134「イエス我が王を」
- ・祈 り
- ・月間贊美 みその SB よ-2「善き力に我囲まれ」
- ・主の祈り
- ・贊 美 讚美歌 285「主よみてもて」
- ・聖書朗読 ピリピ 4:15~20
- ・宣 教 「信仰のあかし、友情のあかし」
—獄屋から友情を込めて(22)—
丸山悟司牧師
- ・応答贊美 みその SB あ-11「あなたは」
- ・感謝献金 LP193「輝く御座に」
讃美歌 547「今ささぐる」
- ・頌 栄 訳美歌 542
- ・祝 祷
- ・報 告



【説教要旨】「信仰のあかし、友情のあかし」（ピリピ4：15—20）

新約聖書には、パウロの書いた13の手紙が収められていますが、そのうちの四つが「獄中書簡」と呼ばれ、ローマの獄中で執筆されたものです。その中でも獄中生活の終盤に書かれたのがピリピ人への手紙です。この手紙の特徴は、パウロとピリピの教会の信徒たちとの関係性にあります。そこには豊かな友愛関係がありました。「信仰のあかし、友情のあかし」と題して、信仰者同士の友情の尊さ、意味深さについて、二つのポイントでお話しします。

①神の賜物としての友情

パウロは親愛の情を込めてこの手紙を執筆しました。ピリピの信徒たちは、パウロと福音宣教における苦難をともにし（4:14；1:7）、パウロに物的支援を惜しみませんでした（4:15-16；コリント第二11:9）。彼らの実際の贈り物もさることながら、その贈り物に表された彼らの信仰と友情にどれほどパウロは励まされたことでしょう。彼らの真心を神の賜物と受け止めて感謝しました（4:17-18；1:3）。

②友情のあかしとしての祈り

ピリピの教会から、はるばるローマにまでエパフロディトを派遣して贈り物を届けてくれたピリピのクリスチヤンたちの厚意に応えたくても、獄中に拘束されパウロは身動きが取れません。ジレンマを感じながらも、パウロがとった行為は、彼らのために心を注ぎ出して祈ることでした（4:19；1:4）。祈ることはそれ自体、神のみ前にとても価値ある奉仕です。パウロは彼らから受け取った贈り物を評して、「それは芳ばしい香りであって、神が喜んでくださるささげ物です」（18節）と述べていますが、祈りもまた、神のみ前に立ちのぼる芳ばしい香りであり、神が喜んでくださるささげ物なのです。

＜報告と案内＞

★本日 14 時 30 分より、「第 20 回 相模原キリスト一致祈祷会」が聖教団相模原キリスト教会にて行われます。出席を希望される方は牧師までお知らせください。

★次週 2 月 1 日(日)の 11 時礼拝は、1 階にて行われ、地下ホールは使用いたしません
のでご了承ください。YouTube 配信と 3 階礼拝は通常通り行われます。

★2月8日(日)午後、愛餐会の後「教会全体会」が行われます。教会員の皆様は出席をご予定ください。

★2月11日(水・祝)10時より「役員研修会」が清瀬バプテスト教会において行われます。ZOOMによるオンライン参加も可能ですので、詳しくはチラシをご覧ください

★2月21日(土)14:00「サムエル・ソング ライブコンサート」が当教会地下ホールを会場に開催されます。チケット(1500円)ご購入の方は木下姉までお求めください。

A row of 20 small, dark, five-pointed star icons arranged horizontally, likely used as a decorative element or a set of navigation icons.

〈次週の主日礼拝〉 2026年2月1日 9時礼拝・11時礼拝

説教者:丸山悟司牧師

聖書箇所:ピリピ 4:21~23

麻答贊美:みその SB は-2「花も」 ※聖餐式が行われます

*今週の「早天祈り会」聖書通読箇所:詩篇79篇～85篇

宗教法人/日本バプテスト教会連合



御園バプテスト教会

牧師:丸山悟司

住所:〒252-0321 神奈川県相模原市南区相模台 2-3-7

電話番号:042-766-0805